



平成 17 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 幸 楽 苑
 代表者の役職名 取締役社長 長谷川 利弘
 (東証第一部 コード番号 7 5 5 4)
 問い合わせ先 執行役員
 経営企画室長 室 井 一 訓
 T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
<http://www.kourakuen.co.jp/>

平成 1 8 年 3 月期中間期及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 5 月 13 日の決算発表時に公表いたしました平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせ申し上げます。

記

1. 平成 17 年 9 月中間期業績予想の修正

連結中間業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 4 , 9 8 3	5 9 8	1 8
今 回 修 正 予 想 (B)	1 4 , 4 5 1	5 6 0	4 9
増 減 額 (B - A)	5 3 1	3 7	3 0
増 減 率	3 . 5 %	6 . 3 %	1 6 4 . 3 %
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 9 月中間期)	1 1 , 7 5 7	5 1 4	1 7 9

個別中間業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 4 , 4 3 3	7 1 7	1 5 7
今 回 修 正 予 想 (B)	1 3 , 9 8 3	6 4 7	1 5 3
増 減 額 (B - A)	4 5 0	7 0	3
増 減 率	3 . 1 %	9 . 8 %	2 . 5 %
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 9 月中間期)	1 1 , 3 2 4	5 7 9	2 6 3

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

2. 平成 18 年 3 月期業績予想の修正

連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	32,352	1,767	551
今回修正予想 (B)	29,906	1,309	457
増減額 (B - A)	2,446	458	93
増減率	7.6%	25.9%	17.0%
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	24,683	1,500	683

個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	30,823	1,874	735
今回修正予想 (B)	28,639	1,401	570
増減額 (B - A)	2,183	472	164
増減率	7.1%	25.2%	22.4%
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	23,896	1,649	860

3. 修正の理由

中間期の業績について

- ・ 売上高につきましては、ラーメン事業において、直営店の新規出店計画 38 店舗に対して実績 37 店舗となり、また、前倒し出店による新店の稼働月数が増加したことにより、新店売上高は計画対比 11.9% の増加となりましたが、直営既存店売上高は、前期比計画 5.0% (客数 3.3% 減、客単価 1.8% 減) の減少に対して、実績 8.9% (客数 3.7% 減、客単価 5.4% 減) の減少となりました。さらに、フランチャイズ加盟店の新規出店計画 5 店舗に対して実績 2 店舗となりました。この結果、連結、個別ともに、当初予想の売上高を下回る見込みであります。
- ・ 経常利益につきましては、ブロック・インテント制 (1 ブロック 3 ~ 5 店舗管理) によるブロック単位での店舗運営管理体制により、店舗販管費の低減等を図ったものの、既存店売上高の計画未達により、連結、個別ともに、当初予想の経常利益を下回る見込みであります。

通期の業績について

- ・ 売上高につきましては、ラーメン事業において、下期新規出店計画を直営店 44 店舗、フランチャイズ加盟店 20 店舗、計 64 店舗を計画しておりましたが、ブロック・インテント制の完全導入と既存店の活性化を重視し、新規出店を抑制し、直営店 7 店舗 (当初計画対比 37 店舗)、フランチャイズ加盟店 13 店舗 (当初計画対比 7 店舗) 計 20 店舗 (当初計画対比 44 店舗) の新規出店を見込んでおります。なお、直営既存店売上高は、直近の実績を勘案し、前期比 6% の減少を見込んでおります。この結果、連結、個別ともに、当初予想の売上高を下回る見込みであります。
- ・ 経常利益及び当期純利益につきましては、新規出店の減少及び既存店売上高の前期比減等により、連結、個別ともに、当初予想の経常利益、当期純利益を下回る見込みであります。

4. その他

平成 16 年 8 月 24 日付「中・長期経営計画に関するお知らせ」にて公表いたしました長期経営計画 (2006 年 3 月期～2015 年 3 月期) 及び中期経営計画 (2006 年 3 月期～2010 年 3 月期) の数値目標については、上記新規出店の抑制により、今後見直しを予定しております。

以上

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。